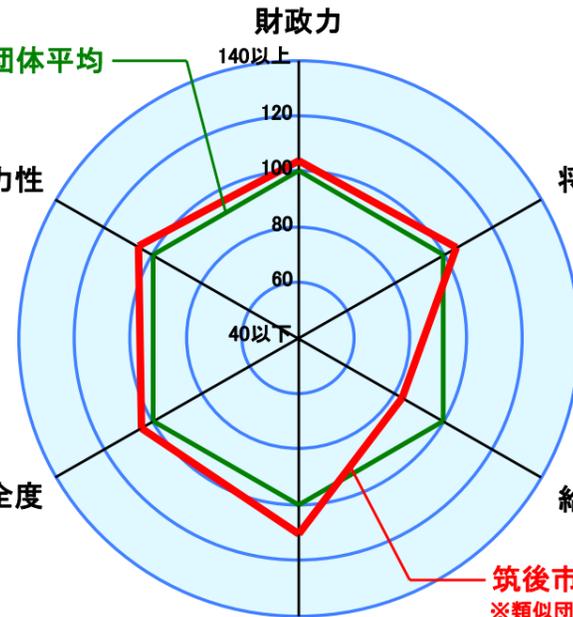


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福岡県 筑後市

人口	47,995 人(H17.3.31現在)
面積	41.85 km ²
歳入総額	15,371,749 千円
歳出総額	14,564,670 千円
実質収支	735,238 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

○経常収支比率

平成12年度以降経常一般財源収入が減少しており、一方、歳出では、人件費は減少しているものの補助費等や繰出金が増加しており経常収支比率は悪化している。今後は、財政健全化計画や第4次行政改革大綱に基づき、人件費の削減や補助交付金の見直しなどに積極的に取り組み、経常収支比率の改善に努力する。

○起債制限比率

サザンクス筑後の建設に伴う公債費の増加により悪化していたが、平成9年度～平成12年度の繰上償還により全国平均以下まで改善していたが、微増状態となっていた。今後は、普通建設事業の厳選による起債の抑制や繰上償還の実施などにより起債制限比率の改善を目指す。

○ラスパイレス指数

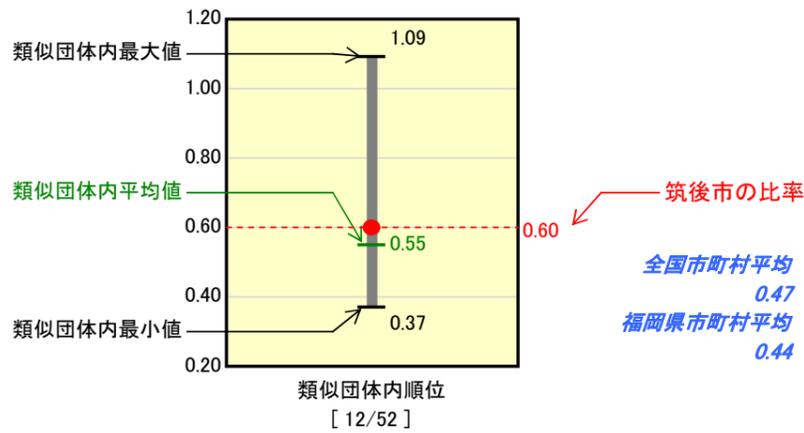
ラスパイレス指数は100を超え、類似団体のなかでもかなり高いほうである。調整手当の削減や各種手当の見直しに取組み、適正な給与となるよう努力する。

○人口1,000人当たり職員数

第三次行政改革による20人以上の職員数削減により、現在でも全国平均より少ない職員数であるが、厳しい財政状況の中、財政健全化計画等によりさらに5年間で40人の削減目標を掲げ努力中である。

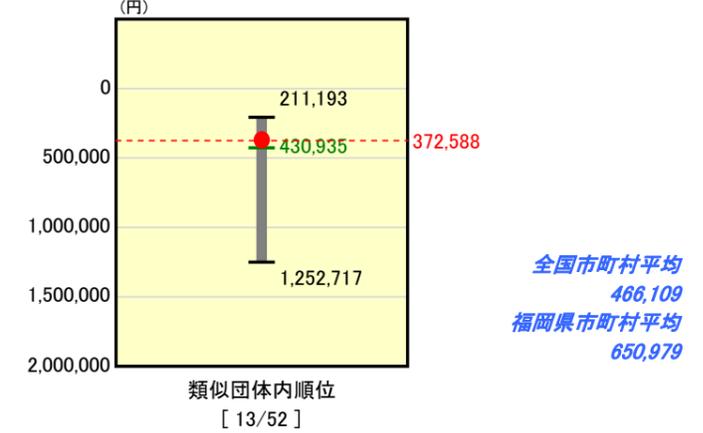
財政力

財政力指数 **[0.60]**



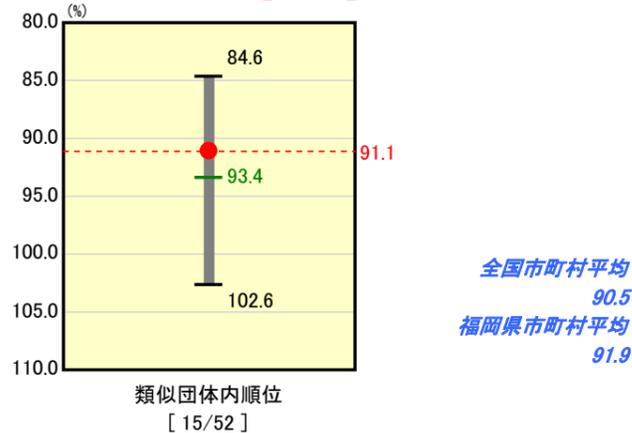
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[372,588円]**



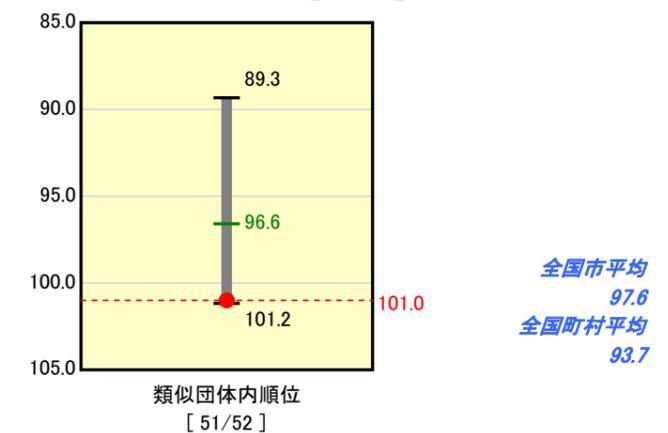
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[91.1%]**



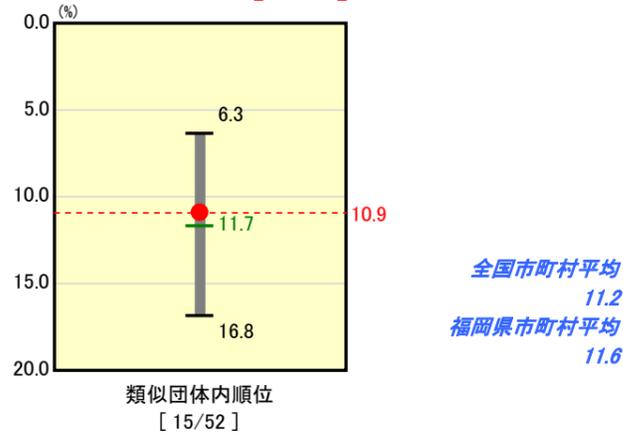
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[101.0]**



公債費負担の健全度

起債制限比率 **[10.9%]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[6.96人]**

